

令和5年度 第2回沖縄県がん診療連携協議会 医療部会議事要旨

日 時：令和5年5月31日(水) 15:00~16:25

場 所：Zoom を利用した Web 会議

参加者：9名

宮里浩(那覇市立病院)、照屋淳(北部地区医師会病院)、増田昌人(琉大病院がんセンター)、
外間早紀子(沖縄県保健医療部健康長寿課)、伊江将史(県立中部病院)、川満博昭(県立宮
古病院)、松村敏信(県立八重山病院)、野村寛徳(琉球大学病院)、有賀拓郎(琉球大学病院)

欠席者：1名

安次嶺宏哉(沖縄協同病院)

陪 席：1名

並里亜衣(琉大病院がんセンター)

【報告事項】

1. 令和5年度 第1回医療部会議事要旨について

資料1に基づき、野村部会長より第1回医療部会議事要旨について説明があった。各自確認し、要望・意見等があればがんセンターに連絡するよう説明があった。

2. 委員一覧について

資料2に基づき、県立八重山病院の委員が與那覇先生から松村先生へ変更になったと説明があった。

3. その他

特になし。

【協議事項】

1. 沖縄県がん対策推進計画(協議会案)について

増田委員より、資料3に基づき沖縄県がん対策推進計画(協議会案)のロジックモデルについて説明があった。

(手術療法)

宮里委員より、手術に関しては5大がんの評価になっているが、分野アウトカムについては「がん一般」な感じになっているので、手術に関しては5大がんに限らず、婦人科や泌尿器等も入れてはどうかとの意見があった。

松村委員より、標準的な治療が普通に行われている場合、消化器外科専門医、呼吸器外科専門医、乳腺外科専門医は必要だとの意見があった。また高い技術を要する小児がん、食道、

肝胆膵は集約化を目指してはどうかとの意見があった。

(薬物療法)

増田委員より、「免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他の診療科や他病院と連携している「施設」の割合」についてはアンケート調査を行うとの説明があった。

宮里委員より、色々な領域・更新制のため、「がん治療専門医」はある程度の指標になるのではないかと意見があった。

(病理診断)

野村部会長より、病理診断部分の「タイムリーな」という表現を「速やかな」という表現に変えてはどうかとの意見があった

(がんゲノム医療)

照屋委員より、遺伝性腫瘍に関するカウンセリングについて質問があった。増田委員より、カウンセリングが必要な遺伝子検査は琉大へ紹介してほしいとの回答があった。

2. 今年度の事業計画について

3. BCP ワーキングの作成について

4. 評価指標データセットについて

時間の都合上、次回へ持ち越しになった。

5. 次回の開催日程について

野村部会長より、事務局より日程調整のお知らせをするとの説明があった。

6. その他

特になし。